

# 語り継がれる物語 今も残る歴史の足跡

明石は、明石海峡の美しい景色が「万葉集」で詠まれ、「源氏物語」や「平家物語」の舞台となっています。今号では、今も残る歴史の足跡を紹介します。

お問い合わせ／文化・スポーツ室歴史文化財係 (TEL) 918-5629 (FAX) 918-5633

## 万葉集

日本最古の歌集「万葉集」には、万葉集の代表的な歌人 柿本人麻呂が明石を題材に詠んだ歌がおさめられています。

意識

西国から都へ戻る長旅の途中、やっと明石までたどりついた喜びを表した歌。

あまさかる  
ひなの長道ゆ恋ひ来れば  
明石の門より大和島みゆ

柿本人麻呂の歌



【柿本人麻呂像】(京都大学総合博物館所蔵)部分

柿本神社(人丸町)



柿本人麻呂を祭神とする神社。境内に柿本人麻呂の歌碑があります。

月照寺(人丸町)



月照寺の境内にも柿本人麻呂の歌碑があります。

## 平家物語

平清盛を中心に平家が全盛を極めながら、源氏との戦いに敗れて滅んでいくまでを描いています。明石は、平清盛の末弟、平忠度が最期を迎えた場所として物語に登場します。

腕塚神社(天文町)



源氏の武将に切られた忠度の右腕を祀っています。

忠度塚(天文町)



忠度の亡きがらを埋めたといわれています。

ほかにも市内には、馬を並べて戦った「両馬川遺跡」や馬を埋めた「源平合戦馬塚旧址」が遺されています。

## Topic

### 現代によみがえる「明石の君」の装束

源氏物語の研究で知られる東京の実践女子大学が5年の歳月をかけて再現。平安時代に使われていた染料と技法で「明石の君」の装束を制作しました。



写真提供：実践女子大学

## 明石ゆかりの文人

### 松尾芭蕉

生涯の旅にささげた松尾芭蕉が訪れた西の端が、明石といわれています。



【松尾芭蕉像】(東京国立博物館所蔵)部分

蛸壺やはかなき夢を夏の月

松尾芭蕉の歌

松尾芭蕉の句碑が柿本神社の前に立っています。



### 夏目漱石

明治44年に完成した中崎公会堂のこけら落としで、文豪・夏目漱石が講演を行いました。講演のテーマは「道楽と職業」でした。



中崎公会堂(相生町)



## 歴史に触れてみませんか

## 江戸時代

### 企画展 魚住文化財収蔵庫

観覧無料

### 出土品から見た明石城下の武家の暮らし

明石城は小笠原忠政(のちの忠貞)によって1619年に築かれました。城下町の町割りには宮本武蔵が行ったといわれています。明石城下で武士がどのような生活をしていたのか、発掘された食器や生活道具を通じて、当時の暮らしを紹介しています。

#### Q. 明石の武士はどこに住んでいたの？

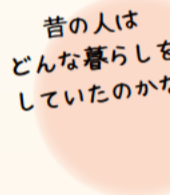
A. 明石駅北側に今も残るお堀と国道2号付近にあった外堀の間に武家屋敷が並んでいました。また、明石の城下町では江戸時代後期には上水道が備わっていました。



昔の暮らしを想像して楽しんでください



当時使用されていた竹でできた水道



昔の人はどんな暮らしをしていたのかな

#### Q. おしゃれを楽しんでいた？

A. 屋敷跡からは、おはぐろ壺や口紅を入れた皿、くしやかんざしも見つかっています。当時の人もおしゃれに気を使っていたことが分かります。



約300年前に使われていた食器・調理具



おはぐろ壺・紅皿



くし・かんざし

### トピック

### 松陰新田(大久保)で

### 5世紀後半の古墳が発掘されました

松陰新田で5世紀後半の古墳が2基発掘されました。これまで明石市では存在が確認されていなかった時代の古墳であり、貴重な発見となりました。



出土した須恵器



円筒埴輪

#### 発掘された古墳の名称と特徴

名称／三番割古墳群 特徴／形は円墳。直径は14m

#### 市内の主な古墳

4世紀後半 幣塚古墳(魚住町)

#### 今回発見

5世紀後半 三番割古墳群(松陰新田)

6世紀前半 カゲユ池古墳(藤江)



2号墳

1号墳

#### 出土品の展示を行います

魚住文化財収蔵庫(3面上)で3月24日まで、今回出土した土器や埴輪、遺跡のパネルを展示します。



### 文化博物館

### くらしのうつりかわり展

— 小学校生活編 —

明治から昭和の小学校での生活のうつりかわりについて、時代の変化とともに展示しています。



#### 期間／3月17日(日)まで

午前9時30分～午後5時30分

(入館は午後5時まで) ※月曜日休館

観覧料／大人200円、大高生150円

(中学生以下無料)、障害者手帳などの提示で半額

#### 源氏物語の世界を体感

文化博物館では、十二単・鎧・衣冠の着付体験を開催しています。詳しくは同館へお問い合わせください。(衣冠は1～3月)



お問い合わせ／文化博物館 (TEL) 918-5400 (FAX) 918-5409